



大田区立小池小学校 学校だより

明るいまいさつ
心をこめて

<https://www.ota-school.ed.jp/koike-es/>

新年を迎えて

校長 横山 圭介

あけましておめでとうございます。

地域、保護者の皆様には、清々しい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

令和8年も、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」となります。

馬（うま）は、紀元前 3～4000 年前には、家畜化が行われていたとされますが、その他の家畜である羊・山羊・牛などと違って、主な目的は食用ではなく、乗用、牽引用であったようです。馬の利用により、人間の移動能力は飛躍的に高まり、広域での交流が可能になりました。馬は、人類文明の発達に大きく貢献した動物であると言えます。

さて、「丙午」というと、出生数が少ない年であることがよく取り上げられます。これは、「丙（ひのえ）」が、「火の兄（ひのえ）」として、強い陽の気をもつとされること、「午」は南の方角を示し、陰陽で「陽」、火・水・木・金・土の五行においても「火」の気を表すことなどから、「火・陽」の気が強すぎるので火災が多い「凶歳」とされたことが元になっています。

これが、江戸時代に「丙午の女性は夫を食い殺す」などと言う俗信に変化したのですが、もちろん何の根拠もない迷信にすぎません。ところが、前回の丙午の年である昭和 41 年には、出生率が前年度より 25% も低下してしまいました。これは江戸時代や明治時代の「丙午」の年には見られなかったほどの大きな変化でしたが、その背景には、当時の新聞やテレビなどで、この迷信を助長するような報道が行われていたことの影響があったようです。

現代社会は、60 年前とは比べ物にならないほど多くの情報で溢れていて、その中には全く根拠のない迷信や盲説と言えるものも多く存在します。こどもたちには、情報に流されず、しっかりと自分で考え、判断ができる力を身に付けてほしいと願っています。

いよいよ三学期が始まります。進級・進学に向けて自身の 1 年間の成長を振り返り、よりよく成長していこうという気持ちを高めていく大切な時期となります。各御家庭では、お子様の成長や、新たな目標についてお話をしていただき、温かい励ましの言葉で送り出していただくよう、お願いいたします。



一月の行事予定



日	曜	行事予定
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	冬季休業日終
8	木	始業式
9	金	給食始 安全指導
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	特別時程午前授業(校外研究会のため) 運動朝会
15	木	おおたの未来づくり発表集会
16	金	朝のなかよしタイム 避難訓練 (Jアラート)
17	土	ものづくり教育学習フォーラム
18	日	
19	月	昼休みなし 校内書初め展始 放送朝会 委員会活動
20	火	昼休みなし
21	水	特別時程午前授業 (校内研究会のため) クラブ発表
22	木	代表委員会
23	金	校内書初め展終 スピーチ大会(1年)
24	土	
25	日	
26	月	放送朝会
27	火	昼のなかよしタイム
28	水	通常時程午前授業(校外研究会のため) 児童集会
29	木	
30	金	委員会発表集会(保健・JRC)
31	土	

※スクールカウンセラー相談日

隠村 美子	13 日 (火)	20 日 (火)	27 日 (火)
山本 有見子	15 日 (木)	22 日 (木)	29 日 (木)

書き初め展

国語主任 益尾 真紀子

書き初めは、抱負や希望、縁起の良い言葉など、一年の始まりにふさわしい言葉を、その年の恵方（縁起の良い方角）に向かって書くという、伝統的な正月行事です。児童一人一人が新たな気持ちで書き初めに取り組むことを通して、新年の抱負や目標を定め、実行できるようにしていかれることを願っています。

本校では、2学期末に書き初めに向けての指導を行いました。1・2年生は、硬筆で「筆圧や字形、文字の大きさ」、3～6年生は、毛筆で「筆遣い、文字の組み立て、配列など」に気を付けて練習しました。手本をよく見て、丁寧に文字を書こうと集中して取り組む姿が見られました。

各学年の代表作品は、「大田区立小学校書き初め展」に出品されます。区内の全小学校の代表作品が展示されるので、ぜひご参観ください。

【校内書き初め展】

1月19日(月)～23日(金) 放課後～16時20分

【大田区立小学校書き初め展】池上会館(1階 展示ホール)

1月14日(水)～20日(火) 9時～17時(20日は13時30分まで)

校内研究

研修主任 小笠原 さちえ

現代、そしてこれからの時代は、科学技術や情報技術の進歩、世界情勢や自然環境の問題などによって、社会や生活が激しく変化する時代と言われています。

大田区では、変化が激しい社会の中でも、「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力」を発揮して、自分自身や周りの人たちが幸せにくらし続けていくことができる未来を創造する児童を育成することをねらいとして、「ものづくり」や「地域の創生」にチャレンジする大田区独自の教科「おおたの未来づくり」が、今年度から各小学校の5・6年生で全面实施となりました。1～4年生は、様々な教科において、その素地を育成していきます。

これは、「都内最多の商店街があるにぎわいのまち」、「水辺環境等の豊かな自然」、「豊富な歴史・文化財」、「羽田空港を要する国際都市」、「都内最多の向上があるものづくりのまち」などの大田区の特徴を活かし、それらの特色に関わる人と連携して、教科横断的に地域社会や人々と自分自身の「Well-being」を目指す取り組みをする学習です。

本校の校内研究では、様々な人々と交流して新たな価値を生み出す活動等の指導を工夫して、未来社会を創造的に生きる児童を育成することを目指しています。

今年度、5年生は、2年生がわくわくするゲームを作成した「生活や心を豊かにするプログラミング」・商店街のPRウィークを開催した「商店街にさらににぎわいを」、6年生は、大田区のふるさと納税を取り戻すための返礼品を企画した「大田区を救え！～失われた200億円～」・洗足池の魅力を発信して活性化を図る「みんなきてきて！洗足池！」の学習に取り組みしました。

様々な人とすすんで関わり、自他のよさを生かしながら、主体的に取り組む、よりよいものを創出しようと試行錯誤して、地域の社会や人々と自分自身のWell-beingにつながる、ものや取組を創り出し、発信してきました。

今後も様々な人と協働して、よりよい未来社会を創造する児童を育成していきます。